

演題名	豚コレラワクチン接種中止後の豚丹毒予防システムの構築		
発表者 氏名	遠藤純子	所属	飯田家畜保健衛生所
<p>豚コレラワクチン接種中止後の新たな豚丹毒（S E）予防システムを構築するため、管内37戸585頭のS E抗体調査、ワクチンネーションプログラム（プログラム）の検討等を実施。</p> <p>S E発生農場とS E非発生農場では、繁殖豚のGM価（繁殖GM価）に差が認められたことから、繁殖GM価の値により農場汚染レベルを4つに分類。繁殖GM価と子豚の移行抗体消失日齢には強い相関が認められ、繁殖GM価により子豚へのワクチン接種適期の把握が可能と推察。</p> <p>プログラムは、効果と経済性から5タイプを設定し、農場の汚染度などに合わせ、農場を各タイプにあてはめた。このタイプ別プログラムをもとに、家畜保健衛生所、農家及び関係者と検討会を開催し、適正なワクチン接種の推進を図った。</p> <p>また、プログラムを効率的に設定するための採血頭数、採血方法についても検討。</p> <p>これらの取り組みにより、S E抗体調査、汚染度と子豚へのワクチン接種適期の把握、プログラムの設定、ワクチン接種、までのS E予防システムが構築できた。</p>			